

はじめに



三島市の水道事業は、富士山の恵みである地下水を利用し、昭和24年8月から給水を開始して以来、市勢の発展、人口増加、市街地の拡大とともに、水需要に応えるため上水道を5次の拡張計画により整備し、11万市民に安全安心な水道水を提供してまいりました。

平成26年3月に「三島市水道ビジョン（改定版）」を策定し、本ビジョンに基づき水道事業経営、施設・管路整備を進めてまいりましたが、皆様からご理解をいただいて平成29年10月に水道料金改定をしたことや、すべての公営企業が「経営戦略」策定を総務省から求められておりますことから、このたび料金改定を反映させた新たな財政計画による平成30年度から39年度までの10年間の計画期間とする「三島市水道事業経営戦略」を策定しました。

今後一層の少子高齢社会の進行や人口減少の影響により、水需要がこれまで以上に減少が見込まれる厳しい状況にありますが、水道水を安定供給し災害に備えるため、老朽化した施設や管路の整備を進めていかなければなりません。

今回の料金改定による収入の増額は、施設や管路の更新費用に充て、本経営戦略の施策や事業を着実に進め、これまでと同様に市民の皆様へ安全、安心な水道水をお届けできるよう努め、また、より経営効率を高めて持続可能な水道事業経営を図ってまいります。

結びに、本経営戦略策定にあたり、貴重なご意見を賜りました三島市水道事業審議会委員の皆様及び監修いただきました法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 佐藤裕弥客員教授に心から感謝を申し上げます。

平成30年3月

三島市長 豊岡 武士

【 本書の構成 】

第1章 経営戦略策定の趣旨	
1 経営戦略策定の目的	1
2 計画期間	1
3 位置付け	2
第2章 現状把握・分析	
1 経営状況	3
2 施設状況	11
3 配水区域と施設位置	13
第3章 水需要の見通し	
1 給水人口の見通し	15
2 給水量の見通し	16
第4章 経営の基本方針	
1 将来の経営課題	17
2 経営の基本方針	18
第5章 投資試算	
1 更新需要の見通し	19
2 整備計画の概要	21
第6章 財源試算	
1 財政収支の見通し	25
2 財政計画における基本的な考え方	26
3 県営駿豆水道の施設更新計画の影響	27
4 経営目標の設定	28
第7章 今後の取り組み	
1 投資の合理化	29
2 経常経費の見直し	29
3 その他の取り組み	30
第8章 進捗管理	
1 経営戦略の検証	31
2 情報発信	31
3 実効性のあるPDCAサイクルの確立	31
巻末資料	
投資・財政計画（収支計画）	32

新元号の施行後は、本文中の和暦を下記変換表にて読みかえてください。

和暦・西暦変換表

平成 30 年度	2018 年度	—
平成 31 年度	2019 年度	新元号元年度
平成 32 年度	2020 年度	新元号 2 年度
平成 33 年度	2021 年度	新元号 3 年度
平成 34 年度	2022 年度	新元号 4 年度
平成 35 年度	2023 年度	新元号 5 年度
平成 36 年度	2024 年度	新元号 6 年度
平成 37 年度	2025 年度	新元号 7 年度
平成 38 年度	2026 年度	新元号 8 年度
平成 39 年度	2027 年度	新元号 9 年度
平成 40 年度	2028 年度	新元号 10 年度
平成 41 年度	2029 年度	新元号 11 年度
平成 42 年度	2030 年度	新元号 12 年度
平成 43 年度	2031 年度	新元号 13 年度
平成 44 年度	2032 年度	新元号 14 年度
平成 45 年度	2033 年度	新元号 15 年度
平成 46 年度	2034 年度	新元号 16 年度
平成 47 年度	2035 年度	新元号 17 年度
平成 48 年度	2036 年度	新元号 18 年度
平成 49 年度	2037 年度	新元号 19 年度
⋮	⋮	⋮
平成 69 年度	2057 年度	新元号 39 年度